

副菜 <じゃがいものえびあんかけ> (4人分)

(材 料)	(分 量)
じゃがいも	240 g
むきえび	50 g
だし汁	300cc
砂糖	小さじ2
しょうゆ	小さじ2
片栗粉	大さじ1
水	大さじ2
しょうが	小さじ1
さやえんどう	2枚

(作り方)

- ① じゃがいもは、きれいに洗って皮をむいてから芽を取り除き、一口大に切る。
- ② むきえびは、背わたを取りきれいに洗う。
- ③ さやえんどうは、さっと茹でてから斜めに切る。
- ④ 鍋にだし汁とじゃがいもを入れて火にかける。少し軟らかくなったら、砂糖、しょうゆを加える。
- ⑤ 煮立ってきたら、むきえびとおろしたしょうがを入れて、むきえびに十分火が通るまで加熱する。
- ⑥ 水溶き片栗粉でとろみをつけてえびあんをつくる。
- ⑦ 器に、まずじゃがいもを盛り付け、えびあんを上からかける。さやえんどうを天盛りに散らしてできあがり。



菰野町みえ森と緑の県民税補助金がスタート

町では「みえ森と緑の県民税交付金」を利用し、森林の土砂災害防止機能等を高めること、住民の生命や財産を守ることを目的として、「菰野町みえ森と緑の県民税補助金」を創設し、森林を維持管理する団体、所有者が行う次の2つの事業に対して助成を行います。

① 危険伐採木搬出事業

伐採後の林地残材をそのままにしておくと、大雨の際などに川に流れ込んで、流れをせき止めたり、流木となるなど災害を引き起こす可能性があります。そこで、これらの搬出等を促すため、搬出費、処分費、作業道整備費に対して助成を行います。

② 病虫害被害木伐採搬出事業

近年、病虫害によるナラ枯れや松枯れで倒木の恐れがある樹木が増加しています。これらの樹木をそのままにしておくと事故が発生する恐れがあります。そこで、これらの樹木の伐採、搬出等を促すため、町道から10m以内のもので、倒木の恐れがある樹木の伐採費、搬出費、処分費に対して助成を行います。



事業内容	対象経費	交付率
危険伐採木搬出	搬出費、処分費 (上限額は4,000千円)	対象経費の65 / 100
	作業道整備費 (上限額は1,800千円)	対象経費の50 / 100
病虫害被害木伐採搬出 (町道から10m以内のものに限る)	伐採費、搬出費、処分費 (上限額は1本当たり100千円)	対象経費の50 / 100

問い合わせ 観光産業課 農林振興係 TEL 391 - 1144 FAX 391 - 1193



今年も収益金から幼稚園と保育園にたくさんの幼児向けの図書を寄贈していただきました。

商工会青年部・女性部 奉仕活動で地域貢献

9月21日、菰野町商工会青年部(齋藤誠治部長)と女性部(辻弘子部長)のメンバーが鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンコース沿道の不法投棄物の回収をしました。参加者は沿道に捨てられたビンやカンなどを熱心に回収し、全て洗浄して分別まで行いました。

また、10月1日には同青年部が主催してチャリティゴルフ大会が三重カンツリークラブで開催されました。地域に貢献するという大会の趣旨に賛同した町内外の個人、団体からの協賛に支えられて運営されるこの大会は、今回で35回目となります。

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	ほっとする道ばた森林整備事業
事業費 8,567,640 円（うち交付金：8,075,000 円）		

1. 事業の目的
 宮川と道路間にある人工林は、集約化や路網整備による効率化を目指した林業経営は困難な立地環境であり、間伐による経済性を望むことは難しく、今後もこのような取扱の困難な林地は放置される可能性が高い。道路沿いに整備されている電線は、台風による風倒木で分断され停電を招くことも多く、災害対策としても有効であると考えられる。
 さらに、宮川への土砂流出防止といった効果も期待でき、これにより、水質日本一を取り戻すことを目指していく。

2. 事業の内容
 宮川と道路間にある放置人工林の整備。小切畑、小滝、滝谷地区の3箇所で人工林の伐採と、護岸防護の必要性が高い場所については地域性苗木を活用した広葉樹植栽を行った。
【事業実施主体】 大台町
【事業費】 8,567,640 円（うち交付金：8,075,000 円）
【事業量】 人工林伐採 0.72ha(内、広葉樹植栽 0.23ha)、整備延長 355m
【事業実施期間】 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

3. 事業の実績と効果
【事業量】 人工林伐採 0.72ha(内、広葉樹植栽 0.23ha)、整備延長 355m
【事業の受益者数】 整備によって生活環境が向上する集落の戸数及び人数 295 戸、631 人(4 月末時点)

4. 事業の評価と今後の取組方向
【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	事業実施により台風時等の倒木による交通障害および冬期の道路凍結の問題が解消される。また、景観面も大幅に改善され地域住民からも高い評価を得ている。
効率性	通常の森林整備と比べ、立地的な条件が不利なことから事業単価は高くなるが、効果等を踏まえ適正であったと判断している。
公益性(波及度)	整備によって生活環境が向上する集落の戸数及び人数 295 戸、631 人(4 月末時点)

【今後の取組方向】
 地域住民からも高い評価を得ていることから、次年度以降も当該事業を継続実施する。

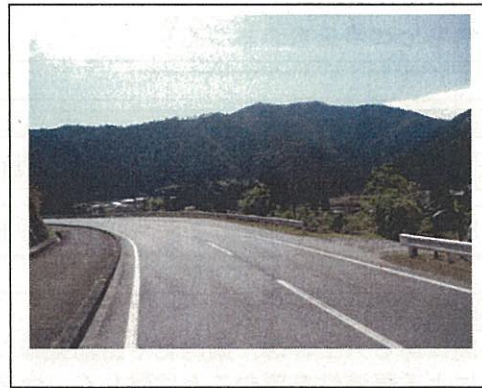
5. 写真

【平成 26 年度施工写真】

小切畑地内人工林伐採



【施工前】



【施工後】

- ・事業実施により台風時等の倒木による交通障害および冬期の道路凍結の問題が解消される。また、景観面も大幅に改善され地域住民からも好評である。

滝谷地内人工林伐採、広葉樹植栽



【施工前】



【施工後】

- ・事業実施により台風時等の倒木による交通障害が改善される。伐採後は護岸防護や景観の改善のため、地域性苗木を活用した多様な樹種による植栽を行った。

6. その他特記事項

事業実施結果を大台町広報紙 6 月号に掲載予定

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
------	----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	生活環境林整備事業
事業費		2,808,000円（うち交付金：2,808,000円）

1. 事業の目的
 人家裏や通学路沿いの倒木等の恐れのある危険木を除去し、通常の暮らしの安全を図る。

2. 事業の内容
 倒木の恐れがある人家裏や通学路等の危険木除去
 【事業実施主体】大紀町
 【事業費】2,808千円
 【事業の規模（事業量）】危険木除去本数：360本
 【事業実施期間】平成26年10月17日～平成27年3月20日

3. 事業の実績と効果
 倒木の恐れがある人家裏や通学路等の危険がなくなり、暮らしの安全が期待できる。
 【事業の規模（事業量）】危険木除去本数：360本
 【事業の受益者数】整備によって生活環境が向上する集落の戸数及び人数約200戸約1,000人

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	危険木の除去により、地域住民の暮らしの安全を確保できた。
効率性	森林組合に委託し事業を実施したことにより、効率よく実施できた。
公益性 波及度	地域住民の生活環境が向上した。

【今後の取組方向】
 今後も、住民の安全を確保したい為、次年度以降も当該事業を継続する。



6. その他特記事項
 平成26年度の事業結果を、町ホームページにて平成27年度中に掲載予定。

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	紀北町
------	----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	人家裏等危険木伐採事業
事業費		1,206,000円(うち交付金:1,200,000円)

1. 事業の目的

人家に密接する放置林において、災害を未然に防止する観点から、人家裏山林の危険木等伐採費用について補助を行う。

2. 事業の内容

自治会が事業主体となり、人家に隣接する山林内の危険木で、緊急に伐採する必要がある場合に限り、その費用の一部を助成する。

【事業実施主体】自治会

【事業費】1,206,000円(その他自治会自己負担金303,300円)

【事業の規模】約0.16ha

【補助率】8/10

【実施期間】平成26年7月～平成27年3月

3. 事業の実績と効果

当地域は、背後に急傾斜地を有する人家が多く、台風や集中豪雨の際に風倒木や土砂災害等のおそれがある。危険が想定される人家裏山林の危険木を伐採することにより、災害を未然に防止し、集落周辺森林の適正な整備が促進されることが期待できる。

【事業の規模】約0.16ha

【事業の受益者数等】4地区 66戸

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	集中豪雨時や強風時の風倒木等の危険性を回避し、周辺住民の生活上の安心度を高めることができた。
効率性	伐採工事に際しては、人家に隣接した急傾斜地にあたるため、特殊な伐採方法がとられた。周辺の安全性を第一に考え、本工事のような伐採に精通した森林組合おわせに伐採を依頼している。
公益性(波及度)	4地区66戸の住民の不安の解消や安全性の確保を図ることに役立てた。

【今後の取組方向】

依然危険木に対する住民の不安が高い箇所が見受けられるため、自治会からの要望に答え、不安解消・快適な環境づくりに努める。

5. 写真

(着手前写真)



(状況写真)



(着手後写真)



6. その他特記事項

広報きほく5月号に事業実施記事を掲載。

うまいもんUAIMON PRODUCERプロデューサーを利用して紀北町を盛り上げます!!

紀北町に眠る「おいしい特産品・名産品＝うまいもん」を全国に広げよう!!

町では、地方の食材・食品に興味を持つ人向けのインターネットサービス「うまいもんプロデューサー」を活用して、紀北町ならではの「食材・食品」の情報発信を行います。生産者さん・事業所さんが商品への“こだわり”や“思い”を直接消費者に伝えることで、紀北町の「食のファンづくり」を行います。

「うまいもんプロデューサー」と一緒に、あなたの食材・食品を全国へ発信しませんか？この取り組みにご興味を持たれた生産者さん・事業所さんは、ぜひお問い合わせください。



うまいもんプロデューサーとは？

ニフティ株式会社と株式会社電通が共同で事業展開するサービス。インターネット上で生産者・事業者と消費者（プロデューサー）がアイデア会議をすることで、商品の良さを再発見でき、消費者の視点を取り入れて商品開発もできるサービスです。(URL:<https://umaimon-p.nifty.com/>)
※本事業は「平成 26 年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業」として実施しています。

【問い合わせ】

本庁商工観光課商工係

Tel46-3115 Fax47-5906

海山総合支所産業建設室産業振興係

Tel32-3903 Fax32-2331

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税

市町交付金事業を実施しました

森を育む人づくり

森林環境教育活動支援事業



環境林や公有林、学校林などを活用し、森林環境教育や育林体験などを通じて、森林の持つ公益的な機能や役割を広く理解してもらう事業の実施及び補助を行いました。

暮らしに身近な森林づくり

危険木伐採事業



人家裏などの放置林において、災害を未然に防止する観点から、人家裏山林などの危険木伐採事業について補助を行いました。

集落周辺森林（里山）整備事業



集落周辺などの荒廃が進む森林を住民自らが整備し、森林の持つ多面的な機能を活用し、安全安心・快適な生活環境を創出していく活動について補助を行いました。

木の薫る空間づくり

紀勢自動車道地域振興施設備品整備事業



はじかみ
始神テラスに木質備品を整備し、木の薫る空間づくりを創出しました。

【問い合わせ】

本庁農林水産課林政係

Tel46-3116

海山総合支所産業建設室産業振興係

Tel32-3903

対策区分	2.暮らし人身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市
------	----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本・特別	暮らしを守る森林保全事業
事業費 10,415,520 円 (うち交付金: 10,250,800 円)		

1. 事業の目的

当市の海に面した沿岸には海岸林があり、防潮・防風・飛砂防止・津波軽減など暮らしを守っているが、病虫害被害が広がっていることや、手入れされずに枝が広がり、道路や電線、集落に覆いかぶさり、台風時に倒木したり、枝が飛散して集落や人身に危険を及ぼすことが懸念されている。そこで、当該税活用事業により、人家周辺における危険木や病虫害被害木の伐採・除去、被害防止のための処置等を実施することによる海岸林等の維持保全を行い、通行の安全や住民の暮らしの安全を確保することを目的とする。

2. 事業の内容

海岸林や人家周辺の危険木の伐採・除去や病虫害被害木の伐倒・駆除、被害防止・維持保全のための樹幹注入等を実施する。

- 【実施主体】 鈴鹿市
- 【事業費】 10,415,520 円
- 【事業の規模(事業量)】 7.2ha
- 【実施区域】 鈴鹿市寺家 ほか
- 【伐採本数】 126本
- 【樹幹注入本数】 116本(639アンプル)
- 【事業実施期間】 平成26年4月～平成27年3月

3. 事業の実績と効果

海岸林や人家周辺における危険木や病虫害被害木の伐採・除去、さらには被害防止のための処置等を実施することによる維持保全を行ったことで、台風等による倒木での人家の被害の防止や病虫害被害の拡大防止につながり、通行の安全や住民の暮らしの安全を守ることにつながった。

- 【事業の規模(事業量)】 7.2ha
- 【伐採本数】 126本
- 【樹幹注入本数】 116本(639アンプル)
- 【事業受益者】 鼓ヶ浦海岸付近在住の市民(1,204世帯 2,915人)

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	危険木や枯れていた松が整備され、倒木による人的被害の発生や病虫害被害の拡大を防ぐことができた。また、健全な松に樹幹注入を実施したことで予防もできた。
効率性	適期に一括して樹幹注入及び危険の伐採を実施したことで、コストや時間の削減ができ、効率的であった。
公益性(波及度)	事業実施により危険木の除去がなされ、枯れ枝や枯れ木等が倒木してくる危険がなくなり、周辺住民の生活環境が向上した。それに伴い、防風林を少しでも残すことができ、また、古くから守られてきた、地元から親しまれている思い入れのある松の枯れの被害を防除できた。

【今後の取組方向】

今後も被害が拡大することがないように、病虫害被害木や危険木があればすぐに対応し、それと併せて、病虫害被害防止対策として薬剤注入にも定期的に取り組み、より一層警戒及び強化して行く。

5. 写真



6. その他特記事項

事業実施現場で「みえ森と緑の県民税」を活用していることを表示